

領域：	グローバル		
テーマ：	開発経済－アフリカ各国の経済成長－		
担当者名：	杉本喜美子		
開講時期：	後期：月曜 4・5・6 限	募集定員：	25 名
内容：	資源価格高騰のおかげで、2003 年以降アフリカ経済は順調な成長を遂げてきた。しかし、アフリカ域内の貧困格差は縮まっていない。さらには 2014 年からの資源価格下落が、全ての国の景気を低迷させたわけではなく、持続的な成長を続ける国も出始めている。このように多様性を見せるアフリカにおいて、各国が持続可能な経済成長を達成するにはどの分野を強化することが求められているのか検証する。アフリカのケースを通して、政策的な提言を行う経験をしてみよう。		
到達目標：	African Development Bank、IMF などが発行するアフリカ経済展望や各国経済レポートを日本語で読む。各自が担当する国に関し、データを集めて読み解く。その結果を発表・議論しあうことで、総合的に、アフリカ経済の現状を把握する。 ①論理的に思考する力 ②プレゼンテーション・スキルを伸ばすことを目指す。		
講義方法：	1.各テーマに関する講義 2.各国データの収集と統計分析 3.各テーマに即した各国経済の現状を発表 4.互いの結果を比較し討論 *各自 1ヶ国、担当国を決める。興味のある国を見つけておくこと 5.アフリカ経済に関して、講義構成にない独自テーマで 20 分発表（グループ発表も可）		
準備学習：	アフリカで何が起きているのかを、新聞等で把握すると同時に、開発経済学の基本を理解しておこう。		
成績評価：	出席(10%)、各回の作業・発表への質問など積極的参加(20%)、テーマごとのプレゼン(全部で 4～5 回程度、40%)と最終レポート(30%)を総合的に評価する。		
欠席基準：	授業実施回数の 3 分の 1 (端数は切り捨て) 以上を欠席した場合、単位を修得することができない。		
講義構成：	1. 開発経済で分析できるテーマを概観する。担当国を選択する。 2-3. 経済成長の理論と検証。アフリカ各国の経済成長における共通性と相違性を把握 4-5. 政治的安定、保健と教育問題に関する現状を把握 6-7. 貿易、直接投資と援助に関する理論と検証 8-9. 途上国に適した金融市場の深化と金融制度の構築を検証 10-11. MDG→SDG の現状把握と、貧困からの脱却問題を考察 11-12. 各国経済政策の内容把握と相互比較 13-14. 総括①：担当国が抱える経済問題の全体像をまとめ、発表する。 15. 総括②：各テーマに関して、その結果を互いに比較し、討論する。		
履修条件：	「経済学入門」を修得しておくことが望ましい。		
推奨科目：	3 年生以上は「国際協力と開発」「国際経済と開発」		
選考方法：	人数が多い場合は選考。		
備考：	必ず PC を持参すること。各テーマに関する資料は、My KONAN 上で添付ファイルにして掲載するので、必ず講義前にチェックしてから授業に出席すること。		
説明会：			